

リアスの森 BPP(バイオマスパワープラント) (気仙沼市)



取組のイメージ図

リアスの森 BPP(バイオマスパワープラント)では、地域から出される間伐材を燃料とし、バイオマスによるガス化発電を行っています。

東日本大震災をきっかけに、気仙沼市では持続可能なエネルギーに目が向けられました。気仙沼市は豊富な海の幸で有名ですが、市の7割が森林であり、森林の整備を進めることが山と海を豊かにするという考えから、森林資源を活用したバイオマス発電の取り組みが進められました。発電した電気は固定価格買取制度を活用し売電するとともに、発生した熱は、冷暖房・給湯用等の熱源として近くのホテルに売熱されています。



講習会の様子



ガス化プラント



搬入された木質チップ

燃料となる間伐材は、地元の森林組合や素材生産業者から購入するほか、個人の林業家からも買い取る制度が設けられ、買取価格の半分が市内の店舗で使用できる地域通貨「リネリア」で支払われています。リネリアは、この発電事業のために作られ、地域経済の活性化にも貢献しています。

また、林業家だけでなく、間伐技術がない方を対象としたフォーラムや講習会を開催することで、山の整備ができずにいた人も間伐に参加することができ、地域が一体となった事業が進められています。

Keyman's VOICE

気仙沼地域エネルギー開発株式会社
社長 高橋 正樹 さん

国内では同様の発電事例が少なかったことから、国外の技術を取り入れる必要があり、言葉の壁や考え方の違いもあって、試運転に時間を要するなど苦労もありましたが、有識者の協力も得て、本格的に移働することができました。

取り組みを進める中で大事だと感じたのは、人の気持ちです。震災後の市民の復興に対する気持ちがあったからこそ、この取組をここまで進めることができたのだと思います。



ホームページは
こちらから



| | |
|----------|---|
| 所在地 | 気仙沼市港町 3-3 |
| アクセス | 三陸自動車道気仙沼中央 IC から車で 15 分 (駐車場 : 5 台) |
| エネ種・規模 | バイオマス発電 800kW、バイオマス熱利用 |
| 活用した補助事業 | 平成 23 年度 木質バイオマス関連施設整備事業 (林野庁) |
| 運営主体 | 気仙沼地域エネルギー開発株式会社 |
| 連絡先 | TEL:0226-22-7338 |